

西小だより

学校の教育目標:よく考え 仲間とともに やりぬく子 合い言葉 "Yes, we can."



「情の共有」ができる夏休みに

校長 岩崎 千宏

お子様が入学・進級して本日で71日目の授業日を数えます。地域や保護者の皆様のお力添えや温かい見守りのお陰で、255名の子も達が大きな事故やけがをすることなく、元気に登校できたことを職員一同、大変嬉しく感じております。この間、日常の授業や生活、各種行事を通して、子ども達が互いに磨き合いながら日に日に「自信や誇り」に満ちた行動や仲間への温かい言動がたくさん見られるようになってきたことが、1学期の大きな成果であると捉えています。

さて、いよいよ明日から39日間の夏休みに入ります。特に、保護者の皆様をお願いしたいのは、「親子で『情の共有』ができる時間をとっていただきたい」ということです。ほんのわずかな時間であっても、親子で行動を共にし、その時の感情を共有することで、子どもの心は豊かに育っていきます。

決して難しく考える必要はありません。一緒に食事をして「おいしいね。」という感情を共にする。一緒に近所を散歩して、美しい花に出会う。親子読書をして、おもしろかったこと、感動したことを共有する。一緒に部屋の掃除をして、「きれいになったね。」と喜び合う。一緒にスポーツをして汗を流す。・・・親子で行動を共にするだけで、子ども達の豊かな感性はたくさんを学び、自分が大切にされていることを実感します。自己有用感が高まれば、様々なことに積極的にチャレンジできる子になります。うれしかったことや感動した体験が多くなれば、友だちへの思いやりや励ましの声かけられる子となり、さらには「次世代の子への恩送り」にもつながっていくのです。お金をかけなくても、普段の生活通りでできる「情の共有」を実践する場面はたくさんあります。わが子の幸せのために、是非ともお力添えいただきますことを願っています。

一方で、夏休みに向けたお子様の目標や願いを受け止めながら、学年に応じた「自立」する力と「自律」する力をこの夏休みに伸ばしていきたいと考えます。保護者の皆様には、特に次の5点にご留意いただけますと幸いです。気になることがあれば、お気軽に学校に相談ください。

- 1 生活のリズムづくりを大切にしましょう
(早寝・早起き・朝ごはん、メディアに依存しない生活)
- 2 親子の会話、団らんができる時間をつくりましょう【情の共有】
- 3 親子がいっしょに活動できる時間をつくりましょう【情の共有】
- 4 家族の一員としての役割をもたせましょう
- 5 「命を守る」ことの大切さを繰り返しご指導ください

